

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	都市景観課長	奥山 信治
都景-03	実施事業	風致地区事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 都市景観課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	歴史的風土の保存

1 事業の目的

対象	市民等
意図	都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。
効果	「鎌倉」の環境の維持

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。</li> <li>・歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。</li> <li>・歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。</li> <li>・古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	1,333	1,757	当初予算(千円)	479		
	国県支出金	160	160	国県支出金	150		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	1,173	1,597	一般財源	329		
	人員配置数	4.0	4.0	人員配置数	4.0		
	人件費(千円)	30,884	32,302	人件費(千円)	33,085		
事業経費運営	総事業費(千円)	32,217	34,059	総事業費(千円)	33,564		
	市民1人当りの経費(円)	183	193	市民1人当りの経費(円)	190		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉らしい良好な風致を維持育成するため、現状どおり。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉の古都の景観や良好な自然環境の維持を図るため、古都保存法の啓発や風致地区制度の制限等について市民等への周知を行うとともに、鎌倉市風致地区条例等に基づく許認可事務を実施していく必要がある。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	平成26年4月1日施行の鎌倉市風致地区条例及び同審査基準・解釈と運用の周知、理解を推進すること。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	窓口ではパンフレットを利用し説明するとともに、電話での問い合わせに対しても、必要に応じてホームページを閲覧していただきながら、分かりやすく丁寧な説明を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	古都保存法や風致地区制度について、引き続き普及啓発に努める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	行政面積に対する風致地区の割合(%)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	55.3%	8.4%	0.0%	1.4%	2.8%	13.5%	23.8%	5.2%	20.1%

比較事項	(参考)各市行政面積(ha)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	3,967	6,951	3,571	6,783	11,409	10,068	1,706	1,734	3,228

比較事項	(参考)各市風致地区面積(ha)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	2,194	584	0	96	320	1,356	406	90	650

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由								
	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--